



予防接種

問 稲城市保健センター

☎378-3421

予防接種後進国、麻疹ましん輸出国と言われている我が国も各分野の努力により随分改善されてきました。さて予防接種とは、感染症の原因となるウイルスや細菌が作り出す毒素の力を弱めてワクチンを作り、このワクチンを接種して免疫を作ることを言います。

予防接種には、生ワクチン（ポリオ、麻疹、風疹、MR、BCG、おたふくかぜ、みずぼうそう、ロタウイルスなど）と不活化ワクチン（三種混合、二種混合、日本脳炎、インフルエンザ、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がんけいがんなど）があり、それぞれ接種時期、回数が決まっています。種類が多く複雑ですが（特に乳幼児期）、行政より配布されている「予防接種と子どもの健康」を参考にされることも一案です。もちろん、かかりつけ医や保健センターに相談されるのもよいでしょう。

予防接種により獲得した免疫が感染の流行を抑制しますが、ある程度の接種率を保たないと流行を防げません。乳幼児期には皆さん積極的に接種されていますが、幼児期から上の年代の接種率が低下しています。接種率が低下すると免疫水準が低下し、流行を

引き起こす事があります。感染症の自然感染による高度な障害や不幸にも死に至ることがあります。それらを防ぐためにも予防接種の接種率を高い水準に保つ事が大切です。また、最近中学校や高校の海外への修学旅行や留学時、大学への入学時に麻疹の予防接種が必要な事が多く、あわてて接種に来られる方が多くいられます。現在、高校3年生での公費によるMRワクチン、麻疹ワクチンが接種できます。もう一度母子健康手帳を確認してください。抜けている予防接種はありますか。もし、抜けている予防接種があつたらかかりつけ医、保健センターに相談してください。

稲城市医師会 岩田章孝いわたあきたか